

# ユイマールの精神はシルバーの心



▲皆で力をあわせれば疲れも半分

今農家では、猫の手も借りた  
いほどの忙しい時期を迎えてい  
ます。  
南城市シルバー人材センター  
は、その農家からの依頼を受け、  
サトウキビの収穫作業や収穫前  
のつる草とりなどの就業にフル  
稼働です。  
玉城地区で始まった収穫作業  
には、四名一組でカマとオノを  
手に楽しくキビ刈りに励んでい  
ます。今年は、台風が少なかつ  
たこともあり、サトウキビが大  
きく成長し、収穫作業をするに  
は、少し困難な面もありますが、  
力を合わせて、就業を行ってい  
ます。  
今年、サトウキビ農家で困っ

みんなの力をあわせて



▲インゲン収穫は集中して！！

ていることは、サトウキビにツ  
ル草が巻きつき、このままでは  
収穫ができないことです。農家  
の方から相談を受け、センター  
で作業を引き受けました。会員  
が、からみついたツル草を丁寧  
に取ることで、サトウキビが収  
穫できるようになっています。  
この就業は、南城市以外の地域  
からも依頼され、大変喜ばれて  
います。  
また、インゲン収穫も今は最  
盛期で、女性の会員が就業を行  
っています。インゲン収穫は、  
収穫する長さがとても大切で、  
はじめはなかなか慣れなかつ  
た会員も、「最初は緊張して手  
も震えたけど、今は楽しく就業  
しています。」と、早朝からの  
インゲン収穫に励んでいます。

## 会員さん登場



新里 ヨシ子  
(佐敷)

シルバー人材センタ  
ーに入会して良かった  
ことは、公園、海岸清掃  
などの就業を通して心  
が明るくなったこと  
です。就業の日が、とても  
楽しみです、心がウキウキ  
します。就業に夢中にな  
ることで、悩みも吹っ飛  
んでしまうそうです。

今では、週に数回の就業が  
生きがいになっています。  
相棒の知念勇さんも優し  
くて、とてもイイ環境で就  
業ができて感謝していま  
す。  
これからも、いろいろな  
就業に携わり、頑張ります  
ので、応援をよろしくお願  
いします。

来年新しい気持ちで新年を迎  
えたいとのことから、庭の木の  
伐採依頼が増えています。  
知念地区にある、樹齢百年を  
超えるガジュマルはその高さも  
数十メートルを超え、はしごを  
使って切ることはできませんで  
した。そこで、パケット車をリ  
ースして、二人の会員が手ノコ  
で見事に切り落とし、依頼主か  
らは大変喜ばれました。さらに、  
年末は庭のそうじ、床の張替え  
と、新年に向けた就業が行われ  
ています。  
これからもシルバー人材セン  
ターは、地域の皆さんに喜んで  
いただける就業を丁寧に行っ  
ていきたいと思えます。

新しい気持ちで新年を

## 仕事百景



▲安全第一、命綱もしています。

写真は、パケット車に乗って、  
ガジュマルの木の枝うちをしてい  
る就業の様子です。  
ハシゴでも届かないところも、パ  
ケット車を使えば、安定した姿勢  
で、作業をすることができます。

事務局長より  
年の瀬も迫り、事務局も  
あわただしい毎日です。  
発足以来八ヶ月会員共々  
試行錯誤を重ねながら全速  
力で駆けてきて気が付いた  
ら早や年の瀬。日々の業務  
に追われ「勉強会」のいと  
まもなく、事務局をはじめ  
全会員が「シルバー人材セ  
ンター」とはなんぞや、そ  
の理念と具体的実践につい  
て学習の場を持つことが出  
来なかったこと反省しきり  
です。  
シルバー人材センターは  
基本的には「有償ボランテ  
ィア」です。会員の皆様が  
永年社会の各分野で活躍さ  
れ、一線を退いた現在、健  
康維持を主な目的に、これ  
まで培った各種技量と力量  
そしてジンブンをもって地  
域に恩返し、指先や頭を使  
うことで健康を維持する、  
これが「シルバー」の大き  
な目的なのです。更には、  
仕事を通して地域の若い  
方々にその仕事の姿勢（模  
範）を示すことも大切です。  
仕事は最後の締めくくり  
が大切です。  
(知念)

南城市

シルバー人材センター

通信  
第8号

平成20年  
12月25日発行

編集発行  
南城市シルバー  
人材センター  
TEL098-852-6655

会員数  
(12月1日現在)

136人

受注件数  
(11月分)

28件

受注金額  
(11月分)

2,525,767円

就業人日  
(11月分)

392人日